

形成外科 研修プログラム

1 研修先

形成外科

2 指導体制

各科・診療部門における指導体制は、別表「指導医及び指導者一覧」を参照

3 診療科基本スケジュール

- (1) 研修期間 自由選択研修 4週間 ※1回目の研修は当該期間を短縮することはできません(延長は可)。
2回目以降の研修は短縮することができます。

(2) 配置予定

	自由選択研修
病棟	指導医の下で受持医
外来	指導医の下で診察見学
検査	形成外科的検査法を見学、形成外科的検査法を実施(2年次の場合)
救急	時間内救急対応

(3) 週間予定表

	午前	午後
月	外来 病棟	外来 病棟 **
火	外来	病棟 **
水	手術もしくは外来*	病棟
木	外来	病棟 **
金	手術	手術

* 第1、3水曜は外来、第2、4、5水曜は手術

** 適宜カンファレンス

4 研修目標

【一般目標】

1. 救急医療：形成外科領域における救急疾患(主に体表面の外傷)に対応できる診察能力を習得する。
2. 慢性疾患：形成外科領域における慢性疾患(主にリンパ浮腫や難治性潰瘍)の診察能力について習得する。
3. 基本手技：形成外科領域における診断と治療法の手技を理解し習得する。
4. 医療記録：医療記録に正確に記録し、診療をすすめていくことを習得する。

【行動目標】

1. 救急医療：
 - 1) 開放創の受傷機転に応じた処置ができる。
 - 2) 小児の外傷に対する基本処置ができる。
 - 3) 高齢者の外傷に対する基本処置ができる。
2. 慢性疾患：
 - 1) 形成外科領域の慢性疾患(主にリンパ浮腫や難治性潰瘍)に対して病態を説明できる。
 - 2) 形成外科領域の慢性疾患(主にリンパ浮腫や難治性潰瘍)に対して基本的処置や治療ができる。
3. 基本手技：
 - 1) 創処置や簡単な傷処理ができる。
 - 2) 清潔操作を理解する。
 - 3) 手術の助手ができる。

4. その他

- 1) 病歴を聴取し、正確に記載できる。
- 2) X線などの画像所見や各種検査を理解し、正確に記載できる。

#	代表的行動	知識	態度	技能
①-1	頻度の高い急性創傷や慢性創傷に関する知識を習得する。	●	●	
①-2	リンパ浮腫以外の浮腫の鑑別疾患を挙げる。	●	●	
①-3	問診・画像・理学的所見などから必要な情報を収集し、鑑別に必要な検査・治療方針について検討する。	●	●	●
②-1	入院患者を担当し、周術期管理を行う。	●	●	●
②-2	外来において外傷による急性創傷の対応を学ぶ。	●	●	●
③-1	社会的背景を考慮し、多職種で連携をとり、治療方針を計画する。	●	●	●

#	代表的行動	知識	態度	技能
①-1	本人・家族から身体所見・社会的な背景の情報を収集する。	●	●	
①-2	急性創傷を診察して適切な検査、処置について上級医にプレゼンテーションを行う。	●	●	●
②-1	検査、処置、治療に関する方法やリスクを説明する。	●	●	●
②-2	手術時の縫合の基本や周術期管理を習得する。	●	●	●
③-1	日々の診療をSOAPに従ってカルテの記載を行う。	●	●	●
③-2	追加の検査や治療方針に対する適切なアセスメントを記載する。	●	●	●
③-3	診療録、退院サマリーを遅滞なく記載し作成する。	●	●	●

5 経験すべき症候・疾病・病態（赤文字下線付きは必須項目）

経験すべき症候(※1)	熱傷・外傷
経験すべき疾病・病態(※2)	高エネルギー外傷・骨折

- ※1 外来又は病棟において、上記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。
- ※2 外来又は病棟において、上記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

6 経験すべき手技

圧迫止血法、包帯法、ドレーン・チューブ類の管理、局所麻酔法、創部消毒とガーゼ交換、簡単な切開・排膿、皮膚縫合、軽度の外傷・熱傷の処置

7 実際の業務

1. 病棟研修

月曜日から金曜日まで患者を担当し、指導医とともに診療を行う。

2. 外来研修

火、木曜日に指導医とともに外来診療を行う。

3. 検査・手術

金曜日に担当患者の手術に助手として参加し、基本手技を習得する。

4. カンファレンス、検討会

術前・術後カンファレンスに参加する。担当症例のプレゼンテーションを行う。

院内外のカンファレンス、講演会に積極的に参加する。

5. 救急研修

指導医とともに、救急患者に対応する。

8 指導内容

適時指導を行い形成外科疾患の診断や検査方法、治療方針を習得する。

病棟・外来・救急センターで形成外科的基本手技を習得する。

手術の助手や術者として形成外科手技の基礎を習得する。

症例プレゼンテーションや診療録に関するフィードバックを行う。

個々の症例の治療全般に関する指導を行う。

9 方略・評価

指導医合議、看護師合議による評価を行う。

研修終了後に指導医からの評価やフィードバックを受ける。